

2026年9月25日
第2回 学校安全部会

コミュニティ・スクールを活用した 学校安全

竹原和泉

文部科学省総合教育政策局CS推進名誉マイスター
NP0法人まちと学校のみらい代表理事



Why

なぜ、学校と地域が連携・協働するのか？

子どものみらいのために



●

●

●

核

子どもの成長

空間 学校・家庭・地域・・・

学校・家庭・地域・・・

社会総がかりで子どもにかかわる

「おらがまちの学校」

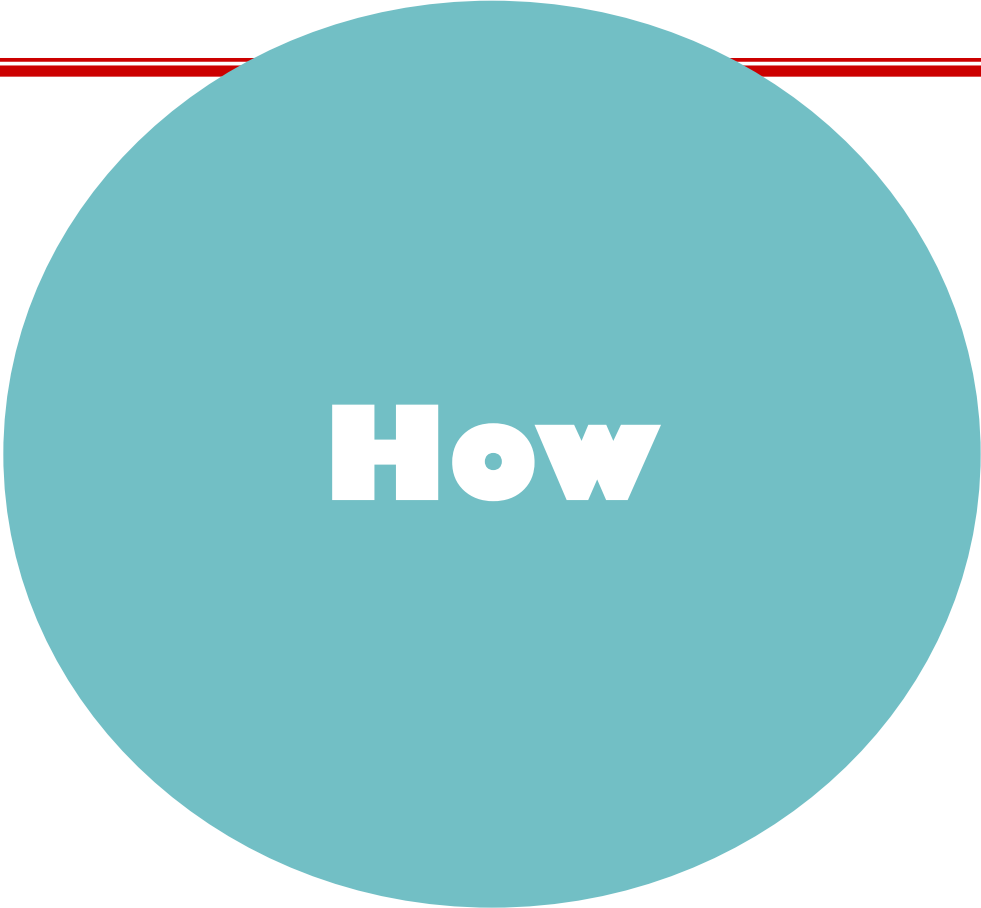
新しい視点

個別最適な教育
社会に開かれた教育課程
GIGAスクール
学校安全
働き方改革 等

持続可能な仕組みにする



コミュニティ・スクール
と地域学校協働活動の一体的推進



How

どんな仕組みですすめるのか

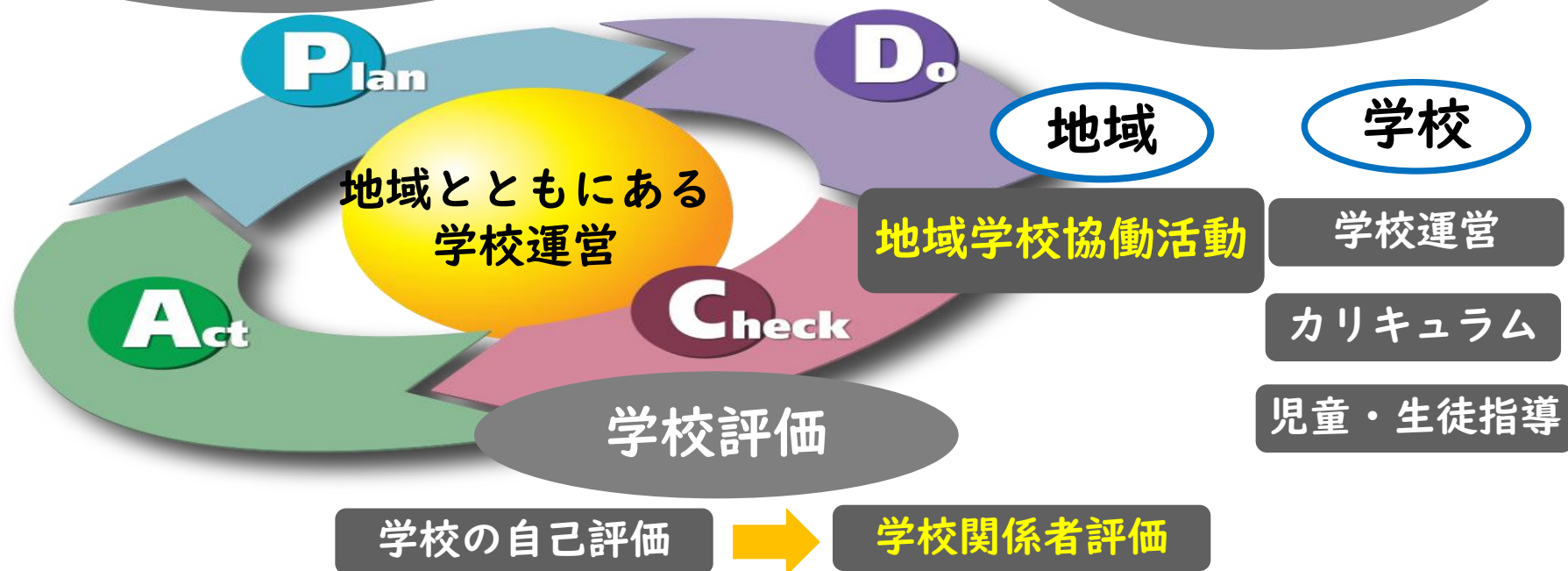
コミュニティ・スクール

(学校運営協議会を設置した学校)

学校運営協議会

学校運営について協議

協議に基づいて
アクション



学校運営協議会の主な役割

- 学校運営に関する基本的な方針の承認をする。

OK



Let's

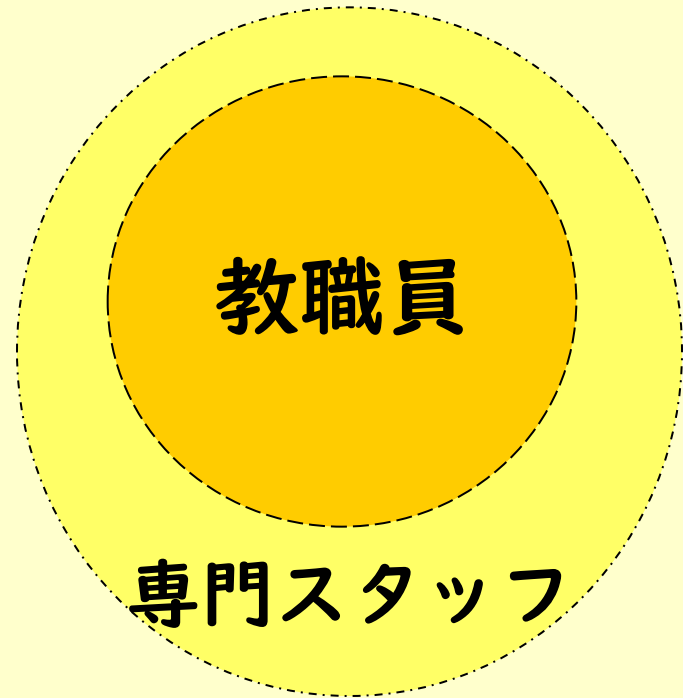
- 運営に関して意見を述べることができる

- 教職員の採用・任用に関して意見を述べることができる

当事者

チーム学校

- 学校のマネジメントが組織的に
行われる体制をつくり
教職員が学習指導と児童生徒指導に
注力できる環境を！
- 多彩な専門スタッフが参画
スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー
部活指導員 ICT支援員
教員業務支援員 技術士
スクールガード・リーダー 等
- 保護者・地域の人・組織がチームの
一員となる
保護者・地域の人
町内会自治会・行政・地域施設
消防・警察・医療機関
企業・商店・NPO 等





WHAT

学校安全をテーマに
多彩な活動

学 校 運 営

学校運営協議会
熟議

学校運営協議会

神奈川県立あおば支援学校

子どもを主語に熟議をしよう！

学校運営協議会委員＋教職員＋保護者＋地域（R8 179名）

■ 切れ目ない支援部会

「卒業後の生活について考えよう」

■ 地域連携部会

「防災について～実際に災害が起きた時どうする？～」

■ 地域学校協働部会

「子どもの学びの保障について考えよう」



誰もが自分ごとになり
一体感が生まれ
次の一歩につながる

子どもの学び

地域とともにつくる学び

岩手県大槌町 ふるさと科の柱「防災教育」

ふるさと科とは？

「生きる力」や「ふるさと創生」を基盤とした特別の教育課程（生活科・総合＋特活）であり、設定当初から教科内容の検討に地域が参画し、授業にも地域が積極的に参加。

地域への愛着を育む学び



地域に主体的にかかわりながら地域のよさを理解し、復興発展に参画する子どもを育てる

生き方・進路指導を充実させる力を育む学び



社会的役割や職業について理解し、進路選択や人生設計について主体的に考え実現しようとする子どもを育てる

防災教育を中心とした学び



自他の命を大切にし、防災や安全について主体的に判断し、行動しようとする子どもを育てる。

コミュニティ・スクールの可能性

学校・・・学校運営

- 多様な立場の人が当事者となる合議体
- 学校運営のバックアップができる
- 問題が起こった時、タイムリーに対処できる
- ○か×ではない難しい判断やスクラップする時の後ろ盾になる
- 学校運営に継続性が高まる

子ども・・・豊かな体験と学び

- 教育内容が充実。リアルな学びの広がり
- 地域の方から学んだり、地域に出て活動することが増える
- 「社会に開かれた教育課程」の実現につながる

地域・・・学校という場を核に「まちづくり」へ

- いざ！という時頼りになる信頼関係ができる
- CSで育った子どもたちがまちの未来を創る

漢方薬

糠 床

CSで育つ子どもたち

暗い道に街路灯が設置された

塾の帰りが怖い

課題意識

情報収集
分析

話し合い
まとめ

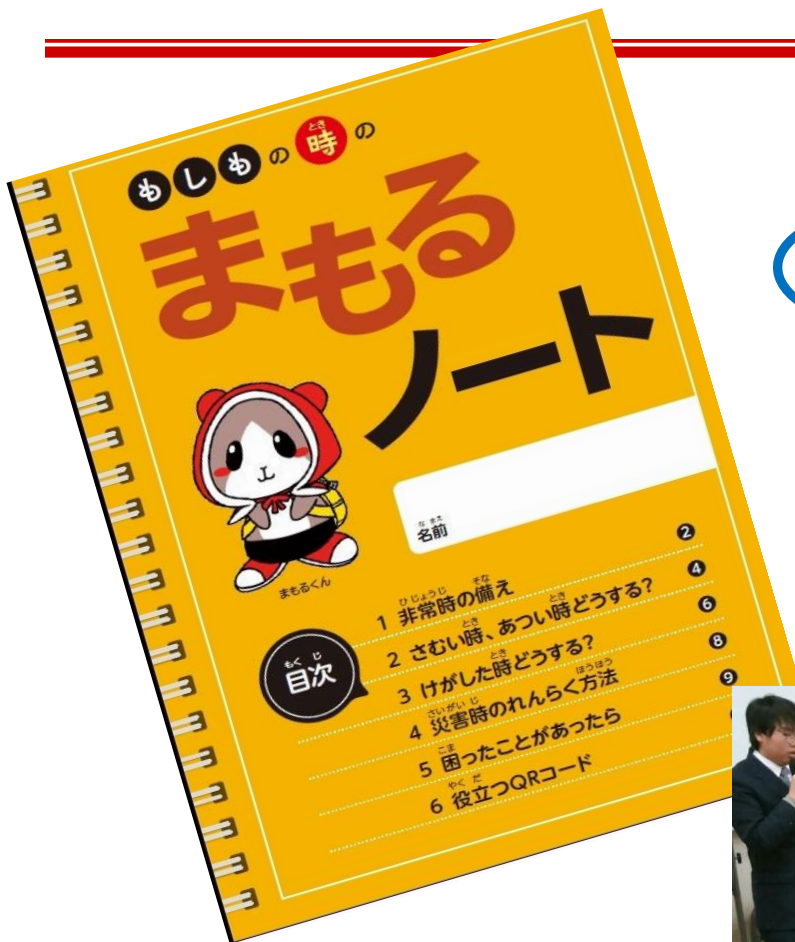
発表
まちづくりへ



プロセスを重ね
チームになり
当事者になる

高校生がつくった防災ノート

災害安全（防災）



これまでの防災訓練は
役に立たなかった！

小学校・特別支援学校高等部で
ワークショップ



青葉区内の危険な道路をデジタル化

交通安全

日常の気づきからスタートし、政策提言へ



中高生が作成した
「あおばの道マップ」



全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けることを目指す。

第3次学校安全の推進に関する計画（令和4年3月）